

つきたい力

情報活用能力

- 情報を取り入れる力
- 情報を比較・分析する力
- 情報を他者に伝える力

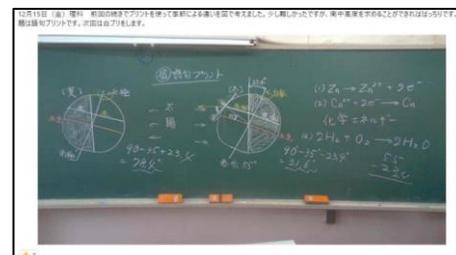
取組みの概要・ポイント

1. 取組みの継続のために、生徒・教職員ともに日常的にタブレットを活用する仕掛け
2. PTA講演会・小中学校教職員合同研修・自己調整能力育成に関する講演会
3. 探究学習の実践・各教科の授業の中で探究のプロセスをたどる授業の実践

具体的な取組みの内容

1. 授業記録をTeamsに投稿する

授業で使った資料や、板書を毎日Teamsに投稿している。こうすることで全ての教職員が日常的にタブレットを使用し、日常的なスキル向上が見込める。また、生徒も勉強で分からなくなったときにいつでも見直せる。教科によっては生徒が自主的に授業記録を投稿している。このように、日常的に活用する中で、タブレットを活用する文化が醸成されている。



授業記録

2. PTA講演会・小中学校教職員合同研修

タブレット活用とこれからを生きる子どもたちにつきたい力を保護者や地域の方々と共有する目的で、PTA講演会を実施した。講演会では、1部「[2年生SDGs探究学習の発表](#)」、2部「講演会（茨城大学 小林祐紀氏）」の2部構成で実施。生徒は探究から発表までのプロセスを学ぶことができた。この探究学習、発表は[DAITOフューチャープレゼンコンテスト](#)や、[図書館活用コンクール](#)など様々な舞台で発表をすることとなった。本学習を通して、調べたことを相手に伝えるための情報の取捨選択の重要性を実感していた。



生徒の発表



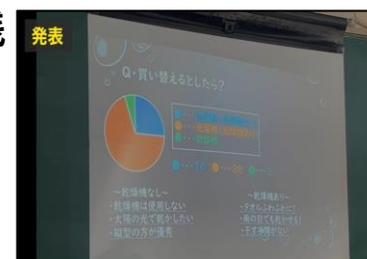
PTA講演会



SDGs実施計画

3. 探究学習の実践、各教科の中で探究のプロセスをたどる授業の実践

2学期、スマートスクール実現モデル校学校公開研究授業に向けて、全教科でテーマ（情報活用能力の育成）を達成するための授業を考え実践した。研究授業の当日だけでなく、研究授業に至るまでの単元の中に様々な情報活用能力が育まれる仕掛けが盛り込まれた授業の実践となった。1学期の探究発表から1歩進んだ発表が見られた。



研究発表資料



冊子



指導案集

【[指導案集](#)・[研究報告資料](#)・[授業づくり部冊子](#)】

取組みを通しての子どもの変容

プレゼンテーションの質や、プレゼンに至るまでのプロセスの質の向上が見られた。6月時点では、調べたことをただ発表しているだけといった様子であったが、11月には自分たちでアンケートを取ったり、現地調査をしたり、結果を予想しながらトライ&エラーをする姿が見られた。そしてプレゼンテーションに関しても、聞く人の心に響くために、話し方、問の置き方、情報の提示、問いかけなど、様々な工夫を凝らすようになった。